## 公開① 第1学年 算数科指導案

## 1年1組 清水 優太朗

本時のねらい 並んでいる問題場面の計算の仕方について、絵や図などを用いて表したり、式を読み取

ったりする活動を通して、図から式に表して落ちなく計算することができるようにする。

**評価規準** 並んでいる問題場面の計算の仕方について、図から式に表して落ちなく計算することができるようにする。

具体的な児童の姿 問題場面を図をもとに式に表している。言葉(の式)で説明できる。

「~さんが人数に入っていないから、入れないといけない。」

時間	児童の活動	指導○及び留意点・ ◎評価〈方法〉※支援を要する児童への手立て	準備物
1	1. 本時のめあてを確認	○前時までに順序数の加法と減法を図で表していたこと	
0	する。	を確認し、本時ではどんな問題になるか興味をもたせる	
分		ようにする。	
		・ゲームを買いに行き、並んでいる様子の写真を前から一	写真
		人ずつ提示していき、今回の問題の並んでいる場面のイ	
		メージをもたせる。	
		問題	
		みさきさんのまえには4人、うしろには6人な	
		らんでいます。ならんでいる人はぜんぶでなん	
		人でしょうか。	
		- これまでの問題は順序を表す問題だったが、今回は順序	
		を表す「~番目」という言葉がないことを押さえ、既習	
		事項とのずれからめあてを提示する。。	
		<b>めあて</b> ずからしきにあらわそう。	
		6765 C 9 11-15 C 2 (C 8) 547-6 7.	
		・図で表さずに答えを予想させると10人になりそうなこ	
		とを引き出させる。	
		・児童から「11人だよ。」という声が出てきたら、児童を	マグネット
		揺さぶり、自分のマグネットを黒板に貼り、答えを位置	
		づけさせ、課題を位置づける。	
		・みさきさんが入っていないことに気付かない場合は、は	写真
		じめに提示した写真を実際に並べていき、ぜんぶで11	
		人になりそうなことに気付かせ、課題を位置づける。	
		課題 ぜんぶで10人?それとも11人かな。	
		- ※再度図で表したら確かめられそうなことを児童から引	
		き出させ、図の必要性を感じさせ、見通しをもたせる。	
2	2. 図と式で自分の考え	○はじめにノートに図で表し、その図を基に式を書かせ	
О	を書き、ペアで交流し、	る。自力解決させた後、ペアで交流し、全体で発表させ	
分	全体で共有する。	る。	

<予想される考え>

- (1) 4+6=10
- 2 + 1 + 6 = 11
- 3 + 6 = 11
- 4 + 7 = 11
- ※自力解決が難しい児童には、図の続きを一緒に考えた り、ブロックを使って考えたりするように促す。
- $\cdot 4 + 6 = 10$ になる理由を図と関連させながら発表させ る。
- ・みさきさんも含めた式を同様に図と関連させながら発表 させる。
- ・答えが11人になることを全体で共有し、その他の「5 +6=11」「4+7=11」と書いた人の理由を発表さ せ、どの式もみさきさんを含めた式になっていることを 押さえる。
- ・{みさきさんの前の人数} {みさきさん} {みさきさんの後 ろの人数}など言葉の式を位置づけるようにする。
- ・図に表すことで、問題文にはなかった「1」が見えてく ることを押さえる。
- ・机間指導しながら、個別にホワイトボードに図を描かせ | ホワイト ておき、全体で共有する際に活用させる。

ボード

- ・図の中に言葉や数値を表現している児童がいた場合は全 体で取り上げ、紹介する。
- ◎図から式に表して落ちなく計算することができるよう にする。 〈発言分析・記録分析〉
- 3. 児童から出た考えを │○図を使用することで、場面を正確に捉え、立式できたり、 意味が分かりやすくなったりすることを確認してまと

5 整理し、まとめる。 分

## まとめ

4+6=10 はみさきさんがはいっていないので、+1をして4+1+6=11になる。 ずでかくと見えない「1」が見えてくる。

めを共有させる。

5

- 4. 追加問題を解く
- ○数値を変えた追加問題を出す。

分

◎図から式に表して落ちなく計算することができるよう にする。 〈発言分析・記録分析〉

5 う。

6. 本時のふり返りを行 │○めあてに対する振り返りや,予想に対する振り返りを書 くようにする。

分